

## 令和 2 年度 白鷺教育会総会挨拶にかえて

白 鷺 教 育 会  
会 長 高 岡 保 宏

会員の皆さんいかがお過ごしでしょうか。皆様には平素から本会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大により政府は「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を決定・公表し、イベント等の開催については感染症拡大防止の観点から開催を検討することを要請しています。しばらくすれば収まるであろうと簡単に考えていたのですが、だんだんひどくなり、本県を含む 7 都府県に緊急事態宣言が発出、3 密（密閉・密集・密接）を避け、不要不急の外出を控えること等が指示されました。そして連日のマスメディアの報じる感染者数の増加に恐々としていました。そのさなか 4 月 10 日に本部役員会を持ち、本会の今年度の評議員会、総会等を中止することにしました。評議員会を開催することができないので議案を各評議員に直接送付し、ご了解を得ました。

さて、今年度は白鷺教育会にとって創始 120 周年の特に記念すべき重要な年であります。3 つの記念事業を計画して、総会時に記念講演とシンポジウムを予定していました。講師・シンポジウムに出席していただくパネリスト等への交渉を重ねて当日を待つだけの状態だっただけに中止は本当に残念です。

5 月のゴールデンウィークが過ぎて国民の努力の成果が少し出てきたのか新規感染者数の増加に歯止めがかかり、病床数や検査体制の確保に目途が立ったと判断して首都圏 4 都県と北海道は継続とし兵庫・大阪・京都は 5 月 21 日に緊急事態宣言が解除されましたが、これで全く安全になったかというところではなく依然として危険な状態は続くわけで、気を抜くことは出来ません。第 2 波、第 3 波を予想してウイルスと上手に付き合っていかなければなりません。

今回のコロナ禍により色々なことが見えてきました。右往左往する政治家や自治体の首長の姿を見るにつけ、リーダーはどうあるべきか白日の下に明らかになりました。また、人間の心の問題で感染者を悪者扱いにする風潮です。感染者は本来被害者であり、同情されるべきであるのに 3 密を守らなかったから自業自得だと非難し差別する傾向、こういう非常時だからこそ温かく寄り添える気持ちを持ちたいものです。そして、将来を担う子ども達の問題です。彼らの教育をどう保障していくか、大きな課題が残されています。ここは我々大人が知恵を出し合い、叡智を結集して解決したいものです。

最後になりましたが、皆さんと共に新型コロナウイルス感染症が 1 日も早く収束し、元の生活に戻ることをお祈り申し上げたいと思います。